

日本語と日本の文化

選択(2単位) 木3時限 教員氏名：伊藤 みちる

開講年度 2017年度

開講学期 2017年度(後期)

【授業種別】 授業は、週1回(90分)で15週。欠席が3分の1以上の場合は不合格となる。遅刻と早退を計3回すると、1回の欠席となる。また30分以上の遅刻と早退は欠席とする。

【授業概要】 世界中のどの言語も、その言語を使って生活している人たちの生活や文化に必ず影響されている。この授業では、日本語を通して日本人独特の物のとらえ方、人間関係の築き方、日本人独特のメンタリティーなどを学び、日本文化の根底にある日本語について意識を新たにする。

【授業計画】 日本語の派生から現代においても変化し続ける日本語について、日本神話や昔話、和歌、物語、小説、映像などを通じて、日本語の歴史、日本語と日本の文化の密接な関わりについて理解を深めていく。

【授業内容】 今まで学んできた日本語の活用能力を確実に向上させ、自然な日本語でのコミュニケーションが可能な日本語人材を育てる授業内容となる。具体的には、あいさつ言葉などの語彙の歴史、ひらがな・カタカナなどの表記の歴史、「いろは」や五十音図などの音韻の歴史など、日本語の歴史や使われ方を総合的にとらえる。同時に、日本語独自のコミュニケーション方法や非言語コミュニケーションを文化として習得し、自然な日本語でのコミュニケーションができるように知識を深める。

【評価基準】 授業出席3分の2以上を評価対象。積極的な授業への参加が求められる。評価割合は、宿題予習レポート50%、レポート50%。
レポートについては、「適切な問題が設定されている」、「設定した問題の背景を説明している」、「設定した問題に対してどのような課題が存在しているのかを指摘している」、「その解決策について、既存の学説等がどのように述べているのかを挙げている」、「既存の意見を踏まえた上で、自分の考えを述べている」の点について評価を行う。

S (100~90点) A (89~80点) B (79~70点) C (69~60点) D (59点以下)

【教材】 毎回プリントを使用。参考文献・資料などは適宜紹介する。

【その他】 質問等は授業後若しくはメールにて受け付ける。オフィスアワーやメールアドレス等の連絡先は初回授業時に伝える。